

令和 6 年 8 月 22 日



大型クラゲ情報(令和 6 年度第 6 号)

概要

- ・ 盆明けから県内各地の定置網で大型クラゲの入網数が急増し、1 日あたり 1000 個体に達する経営体も報告されています。
- ・ 島根丸による分布調査が行われました。採取された個体数は少なかったですが、クラゲの分布が特定の海域に集中しているか、海底近くに沈んでいる可能性があります。特に底びき網は警戒ください。

本県の出現状況(8月22日現在)

- ・ 隠岐の定置網では、多くの場所で盆明けから大型クラゲの入網が再び増加し、1 日 100~200 個体の入網が確認されています。
- ・ 県東部の定置網でも盆明けに大型クラゲの入網数が増加し、多くの定置網で 1 日数百個体の入網が確認されています。19 日には 1 日あたりの入網数が 1000 個体に達する経営体もありました。
- ・ 比較的入網が少なかった県西部の定置網でも、盆明けに入網数が増加しており、1 日あたり 20 個体程度の入網であったのが、10 トン程度にまで増えた経営体がありました。一方で、西寄りに位置する定置網では大型クラゲの入網が途絶えたとの報告もあります。
- ・ 定置網に入網するクラゲのサイズは徐々に大きくなっており、傘径 130cm に達するものも確認されるようになりました。このサイズになると 1 個体あたり 100kg 前後の重量となり、少数でも被害が大きくなります。
- ・ 8 月 22 日から県内各地の定置網で、「大型クラゲ緊急対策事業」を活用した沿岸域洋上駆除が実施されています。
- ・ 島根半島沖で操業するまき網では、1 日 1 経営体あたり 1~6 トン程度の大型クラゲの入網が確認されています。破損したクラゲが多くサイズは不明ですが、盆前よりは減少したとのことです。
- ・ 県西部の沖合底びき網は、先週より漁期に入りました。対馬付近の漁場で大型クラゲを確認しており、分布している場所を避けて操業するなどの対策を取っています。

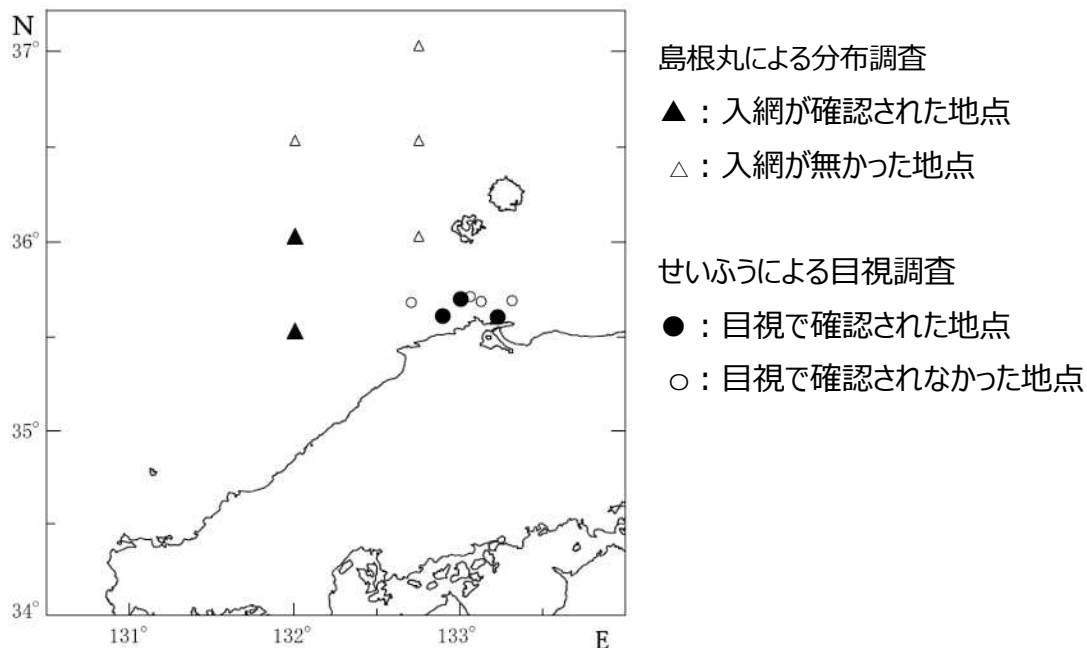
試験船「島根丸」による大型クラゲ分布調査結果(8月19~21日実施)

- ・ 試験船島根丸を用いて、8 月 19~21 日にかけて、大型クラゲ分布調査を行いました。LC ネットを水深 50m で 1 分間曳網し、クラゲを採取する調査です。
- ・ 調査の結果、次ページの図中に示した 6 地点中 2 地点において、各 1 個体の大型クラゲが入網しました。
- ・ 今回の調査では、現在の大型クラゲの出現状況から予想していた数よりも、かなり少ない入網数となりました。この理由として、海流や気象の影響で大型クラゲの分布が狭い海域に集中している可能性が考えられます。またこのことに関して漁業情報サービスセンター(JAFIC)からは、高水温によりクラゲの活性が落ちて、多くの

個体が海底近くに沈んでいる可能性があるとの情報提供がありました。

巡視船「せいふう」による大型クラゲ目視調査結果（8月19～21日実施）

- ・巡視船せいふうにより、取り締まり業務に併せて大型クラゲの目視調査を実施しています。今回は、8月19～21日に、島根県東部の海域において調査が実施されました。
- ・下図に示した7地点中3地点において、1～2個体の大型クラゲが確認されました。傘径は50～100cmの範囲内でした。



漁業情報サービスセンター（JAFIC）からの情報提供（8月22日現在）

- ・鳥取県の小型底びき網において、1日あたり最大30個体程度の入網が確認されています。
 - ・石川県の調査で、大型クラゲは水深200～300mの海底に分布していることが報告されました。
 - ・山陰で操業する底びき網はご注意ください。同地域の定置網も急増することがあるのでご注意ください。
- ※詳細は漁業情報サービスセンターHP (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

大型クラゲのための漁具改良マニュアルについて

- ・水産研究・教育機構が、大型クラゲ対策のための底びき網や定置網の漁具改良、海洋駆除の方法についてまとめたマニュアルを公開しています。下記の場所にありますので、ご参考ください。

https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/files/kurage4.pdf

【発信者】

島根県水産技術センター
海洋資源科 担当：石原

TEL: 0855-23-4806

FAX: 0855-23-2079

Email: suigi@pref.shimane.lg.jp